

1 単元名 「フラワータウンプロジェクト『花と笑顔のまちづくり』」

2 目標

- 花を育てたり、地域の方と交流したりすることを通して、植物の成長に必要な条件や、人同士のつながりの価値を理解し、よりよい地域にしていくために課題を見出し、課題解決に向けて工夫しながら活動することができる。
(知識及び技能)
- 地域に対する自分たちや地域の方々の思いを共有し、どうすればみんなが笑顔で住み続けたいくなるまちにできるのかを考え、その思いや考え、状況など課題解決に向けて友だちや地域の方と連携・協働して取り組むとともに、一連の取組をまとめて相手に応じて表現して、発信することができる。
(思考力・判断力・表現力等)
- 環境保全やよりよいまちづくりに関心を持ち、友だちや地域の方と進んで関わりながら、目標に向かって行動しようとするすることができる。
(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、フラワータウンプロジェクトの中で、花を通して人々とのつながりあい、地域を笑顔いっぱいのまちにするために、協働して行動する。そして、これまでにフラワータウンプロジェクトに関わってきた人々の思いや願いを大切に、地域や自分が育てた植物に対する愛着を持って、今後も自分の力で地域をよりよくしていこうという気持ちを高めることができるようにすることをねらいとしている。

フラワータウンプロジェクトに関わってきたGTを招き活動の歴史や人々の思いや様子を知ることで、意義を感じ、それを途切れさせないようにつなぐのは自分たちにあることに気づかせることで、意欲を高める。また、計画を実行する中で地域の方とコミュニケーションを図り、人とつながることのよさを感じ、他者と協力する態度を養うことができる。

このことは、自ら課題を見出し、周りの人と協働的に取り組みながら解決策を探し、探究する力を育てる上で役立つ。

(2) 児童観

本学級の子どもたちは、これまでに総合的な学習の時間で「米作り」や「フラワータウンプロジェクト」に取り組んできた。その中で先人の力の偉大さを感じたり、自分たちで育てた花を感謝の気持ちを込めて地域の方に届ける経験をしたりしている。また、目の前の課題解決に対し、意欲的に友だちと協力しながら取り組む子どもたちが多く、育てた花を様々な相手に届けたい、役立てたいという思いをもっている。しかし、課題を解決するために自分で情報を集め、得た情報を分析し、そこから新たな課題を見つけたり、解決する方法を見つけたりして、探究していくまでには至っていない。また、自分の考え方に固執してしまい、協働することが苦手な子どもや、自分の考えを表現することに消極的な子どもも見られる。

そこで、友だちや地域の方など様々な人々と力を合わせて課題解決をしていくなかで、地域の一員として自覚を持つとともに、次の世代にも視野を広げ、よりよい解決方法を見出し実践したり、自分との関わりを考えたりすることができるようになっていくこの期に本単元を取り上げる。

このことは、目の前の課題を自分ごととして捉え、よりよい地域づくりに主体的に参画する子どもを育てる上でも意義深い。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、地域やその未来を見通す広い視野を持ち、目の前の課題を自分事として捉え

て、解決のために情報を集め、整理・分析して粘り強く探究し、解決に向かおうとする態度を養いたい。そのために、まず自分たちの取り組み方の課題を見つけ、フラワータウンプロジェクトに関わる方や、地域の方々の思いを知ることによって本単元のめあてをつかませる。また、その中で、主となって動くのは自分たちであることと、GT や先輩たちから任されたという気持ちを持たせ、責任をもつとともに意欲も高めたい。

次に、フラワータウンプロジェクトの計画を立てる。みんなが笑顔になるためには、多くの意見をもとにするべきことに気づかせ、松原中学校と交流して意見を求め、計画に生かすようにする。

そして、地域の方とともに花壇の世話をすることでつながりを深めながら立てた計画を実行していく。花壇の花の世話を続けながら、その花を活用してもっとたくさんの人を笑顔にできないかと考えさせる。そこで昨年からのつながりのあるキリバスへの募金活動を計画する時間を設ける。募金をしてくれた人へ渡す飾り作りをし、地域に協力を呼びかける。呼びかける際には、相手の発達段階や生活様式をもとに方法を考え、効果的なものを選びさせる。その後実際に募金活動を行い、キリバスへと送る。

さらには、それまでの取り組みや学びをまとめ、4年生へと引き継ぎ式を行う。その後振り返りをして今後さらにできることはあるか考えることで、これからの活動につなげるようにする。

(4) ESD との関連

- ・ 本単元で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

相互性…地域の人とともにまちづくりに励むことで、みんなの意見をもとにした、みんなが笑顔で幸せに生きることができるまちに近づくことができることに気づいている。

公平性…自分たちより上の世代がつないでくれた「フラワータウンプロジェクト」を責任をもって次の世代につないだり、さらによりよくしたりすることで世代間と世代内の公平を保つことができることに気づいている。

- ・ 本学習で育てたい ESD の資質・能力

未来像を予測して計画を立てる力

理想のフラワータウンを具体的に考え、それに向かっていくために必要なことを出し合っただけの計画を立てることができる。

他者と協力する態度

地域の方の意見を取り入れることのよさに気づき、協力してまちをよくしようとするすることができる。

- ・ 本学習で変容を促す ESD の価値観

世代間の公正

過去の人々の思いや努力に感謝し、それを受け継ぐのだという当事者意識をもち、将来世代の人のことも考えることができる。

自然環境や生態系保全を重視する

人々の命を支える自然の存在に気づき、人だけでなく、自然もののびのびと生きることができるまちづくりを考えることができる。

幸福感を大切に

誰もが「幸せに暮らしたい」という願いをもって生きていて、自分もそれに貢献できることに気づく。

- ・ 達成が期待される SDG s

- 1 1 住み続けられるまちづくりを
- 1 5 陸の豊かさも守ろう

4. 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
<p>①植物の成長に必要な条件や、植物ごとの世話の仕方について理解している。</p> <p>②学んだり、調べたりして獲得した知識をまとめたり、自分たちの目標の達成のために必要なことを考えて計画を立てることができる技能を身につけている。</p>	<p>①資料やこれまでの自分たちの取組をもとに課題を見だし、笑顔で住み続けられるまちづくりのための「フラワータウンプロジェクト」の計画を考えることができる。</p> <p>②植物の世話の仕方や「フラワータウンプロジェクト」の計画を発信するための動画やポスターに表現することができる。</p>	<p>①これまでに「フラワータウンプロジェクト」をつないでくれた先輩たちの思いを自分たちが引き継ぎ、みんなが笑顔で住み続けることができるまちづくりをしたいという意識をもち、地域の方と積極的に関わろうとしている。</p> <p>②「フラワータウンプロジェクト」や、キリバスへの募金活動をする中で、今の自分にできることを考え、計画を立てて実行しようとしている。</p>

5. 単元の指導計画

○学習活動	○学習への支援	○評価・備考
<p>1 これまでのフラワータウンプロジェクトの取組の成果や課題を見つけ、学習問題をつかむ。</p> <p>○ これまでの取組の成果と課題を見つけ、さらに取組めそうなことを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これからもっとできることがありそうだよ。 <p>○ フラワータウンプロジェクトの始まりと、磯濱さんの思いについて知り、自分たちが引き継いで行くのだという自覚をもつ。</p> <p>○ キリバスの現状と GT の馬場先生の思いを知り、本単元の学習問題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今度は自分たちが思いを引き継いで、花を活用して地域にもキリバスにも笑顔を増やしたいな。 	<p>○ 取組の成果と課題に気づかせるために、過去の取組の写真やそれに対する地域の方の反応をビデオで見せる。</p> <p>○ 意欲を高めるために、今のロータリーができるまでの経緯やボランティアで関わる方の思いを知る機会を設定する。</p> <p>○ 花を活用する目的を明確にするために、GT からのビデオメッセージを見せ、自分たちがつながりを引き継いで行くのだという意識を持たせる。</p>	<p>イ① (思判表)</p>
<p>フラワータウンプロジェクトを通して、世界の人々の笑顔を増やそう。</p>		
<p>2 自分たちと地域の方の思いをもとにフラワータウンプロジェクトの計画を立てる。</p> <p>○ 年間を通した花壇の様子がわかるように、フラワーカレンダーにまとめる。</p>	<p>○ 花の植え替え時期と花に合わせた活用方法を見通して計画を立てさせ</p>	<p>ア① (知・技)</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の活動を決める上で重要な軸になるね。 ○ フラワーカレンダーや地域の方の意見をもとに活動の計画を立てる。 ・ ロータリーの愛称や花の活用方法を決めよう。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【かかわり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 松原中学校の生徒にロータリーのデザインや飾り </div>	<p>るために,GT の指導のもとでフラワーカレンダーを作成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ より多くの意見をもとにして計画を立てるために,松原中学校と意見交流する機会を設ける。 ○ 見通しをもって取り組むことができるようにするために,計画を掲示させる。 	<p>ア② (知・技)</p>
<p>3 計画を実行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の方にフラワータウンプロジェクトに参加を呼びかけ,一緒に花の植え替えなどをする。 ・ みんなで思いを共有しながら,取り組もう。 ○ 募金活動にむけて計画を立てる。 ・ 呼びかけでたくさんの人に知ってほしいね。 ○ 募金活動への参加を呼びかける方法を決める。 ・ 相手に合わせた工夫をする必要があるね。 ○ 役割分担を行い,準備・実行し,集めたお金をキリバスへ送り,地域の方への報告をする。 ・ みんなの思いがキリバスでどんな形になったのか知らせて,喜びを共有しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 呼びかけの方法を効率的に絞るために,呼びかけたい相手を明確にして考えさせる。 ○ 地域の方とともにまちづくりに取り組むことができるようにするために,地域の方と活動する機会を設ける。 ○ より効果的な呼びかけを行うために,相手の発達段階や生活様式に合わせて決めさせる。 ○ 全体の計画とともに他のグループの活動の進度も把握しながら取り組むために,各グループの計画表も掲示しておく。 	<p>イ② (思判表)</p> <p>ウ① (主体的)</p> <p>ウ② (主体的)</p>
<p>4 これまでの学習を振り返り,4年生に引き継ぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ GTのこれまでの学習をふり振り返り,4年生に引き継ぐ内容をまとめ,引き継ぎ式をする。 ・ この取組を4年生にも引き継いでもらって,これからもみんなが笑顔で住み続けられるまちづくりを続けてほしいね。 <p>5 本単元の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの学習で学んだことや自分のがんばりを振り返り,今後どう生かしていくのかを考える。 ・ 今後も人々の笑顔のために自分にできることをしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思いや内容にずれが無いようにするために,自分たちで伝えたい内容や方法を始めに確認し,式の内容などの計画を立てさせる。 ○ 自分たちが取り組んだことの価値に気づかせるために,GTの先生と交流をした後に本単元の振り返りをさせる。 	<p>イ② (思判表)</p>